



みみよい

82

発行日/2025 年 12 月 20 日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

ごあいさつ

岩本 重雄

日本国内で知名度が低いと言われた「デフリンピック」でしたが、初の日本開催となった今大会は11月15日から12日間、東京都などで行われ、81カ国から約3千人の選手が参加しました。開・閉会式はテレビでの生放送。競技の様子は各局のニュースなどで放送され、国際手話、日本手話、字幕を付与しての配信もありました。日本選手は見事、金メダル16個・銀メダル12個・銅メダル23個と、過去最高の計51個を獲得しました。これまで辛いこともあったことだと思います。メダルを獲得できなかった選手も含めて、「おめでとう」と「おつかれさま」と伝えたいです。



大会運営などの開始から終了までの取り組みで、「デフリンピック」の知名度はどこまで高まったのだろうか？ 日本国民にも興味を持ってもらえただろうか？ きこえない・きこえにくいこどもたちも、未来につなぐ夢を持つことができたのだろうか？というところに注目し、今後の聴覚障害者理解や手話の取り組みにつなげたいと思います。

開催事業報告



《保護者学習会》

11月1日(土)に「きこえない子の親として」と題して梶本 智美さんにご講演いただきました。実際にきこえないお子さんを育てられた梶本さんが、どんなことで悩み、不安に感じたのか、奮闘しながらもこどもの成長や将来のためにどんな想いがあったのか、たくさんのエピソードやその時に大切にされていたことを添えて、お話しいただきました。



娘さんがきこえていないとわかり、当時、インターネットやSNSでの情報がまだ十分でない中、限界や焦りを感じていたとき、先生の「お母さんが天井を決めてどうするの？」の言葉をきっかけに変わったとのこと。限界を決めず、将来に目を向け、その時どきに出会う先生や人、言葉から励まされ、いつも娘さんに目を向け、話し合い、挑戦していったことが印象的でした。

娘の瑞希さんは、現在、映画出演やダンスなど多彩に活躍しておられます。自分の好きなことを見つけていくまでの過程、そして、これからを悩みながらも親子で楽しんでこられたので、今後の活躍もますます楽しみです。参加者は6名でしたが、質問や感想もたくさんあり、終了後もみなさんから話しかけられていました。資料も見やすく、丁寧にお話しいただきありがとうございました。



《みみサロン》 11月15日(土)のみみサロンは偶然にも東京2025デフリンピック開会式の日と重なりましたが、12名の方がデフラグビーの川上能壽(やすひさ)選手の講演に参加してくださいました。

こどもの頃に使っていた首からぶら下げる大きな箱型の補聴器のことや、海外遠征時に扉がわからなかったエレベーターのお話などの珍しいお話も、写真をたくさん見せてくださったのでとてもわかりやすかったです。また、試合中のスクラムの時は視線が地面に向くので、笛の音や掛け声がきこえないため、審判は手

をスクラムの下へ入れて選手が見えるところで合図(※)を出しているという「デフスポーツ」ならではの
特徴を知りました。※スクラムを安全に組むための3段階の合図がある。

明るく楽しい雰囲気の中、川上選手、実はラグビー一筋ではなく、ボディビルにもチャレンジしたこともあるのだそうです。誘われるままに大会に挑んだけれども全く知らない世界で、音楽に合わせてポーズを決めるのに合図を出してくれるはずの担当者が来ず、持ち時間の半分を残して終えてしまった。しかも、色白でムダ毛の処理もしていなかったのは自分だけだった！と、とても恥ずかしい思いをしたそうです。他にも、サッカーやバスケットにも挑戦してみたが、やはり自分にはラグビーが一番合うと感じ、戻ってきたとのこと。いろんなスポーツを試して常に楽しんでいるような川上選手、50代という年齢を感じさせないエネルギッシュな姿は見ている私達も元気になりました。ラグビーファンとしては、今後、デフリンピックの競技種目に入ることを願っています。

《もじサロン（筆談会・わいわいおしゃべり会）》



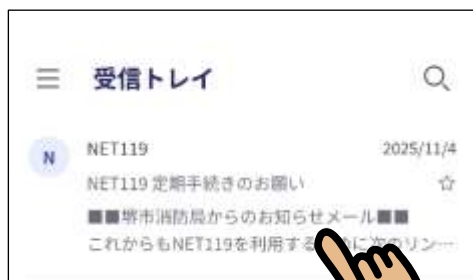
10月は4名が参加されました。大阪万博や前回の万博のことも話題に。地方の友人と一緒に楽しんだ方もおられました。また、「友人と一緒にTV観戦中、阪神の優勝が決まったので一緒に喜び楽しかった」と、大阪人らしい楽しみもお話いただきました。

11月も“おなじみ”4名の方と筆談しました。ようやく朝晩に秋の気配が感じられ始めた頃で、1人の方が「船で旅行に行ってきた」とお話をしてくれました。「ディナーは正装で」ということですから豪華客船だと想像できますね。下船して買い物などを楽しんだ韓国では「お菓子と思って帰って開けてみたらフェイスパックだった！」という失敗談にみんなで笑いました。楽しく夢のあるお話をありがとうございました。

お済みですか？ NET119 定期手続き

「NET119 緊急通報システム」の登録をされている方にお知らせです。登録後、年1回「NET119 定期手続きのお願い」というメールが登録したアドレスに届きます。アドレス変更がないかを確認するためのものですので、手続きをお願いします。迷惑メールフォルダに入ってしまう可能性もあるため、「登録して1年になるが届かない」という方は、迷惑メールフォルダの確認をお願いします（メールは登録後1年を基準に90日前・60日前にも届くようになっています）。定期手続きをせずに放置すると、登録が解除され、通報できなくなることがあります。ご注意ください。

メールが届く

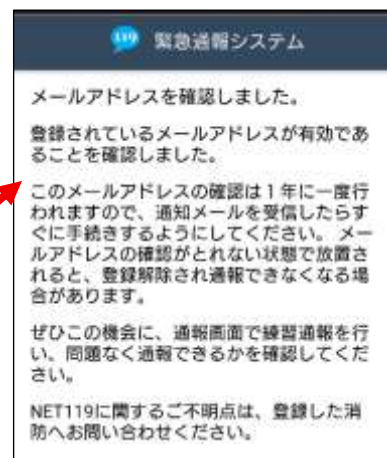


このメールは本当に消防局から来たもの？と不安になる方もおられるかもしれません。そんなときは、メールの「件名」と「発信元」を確認しましょう。
件 名：NET119 定期手続きのお知らせ
送信元：NET119<no-reply@entry02.web119.info>

メール内の URL をタップ



手続き完了



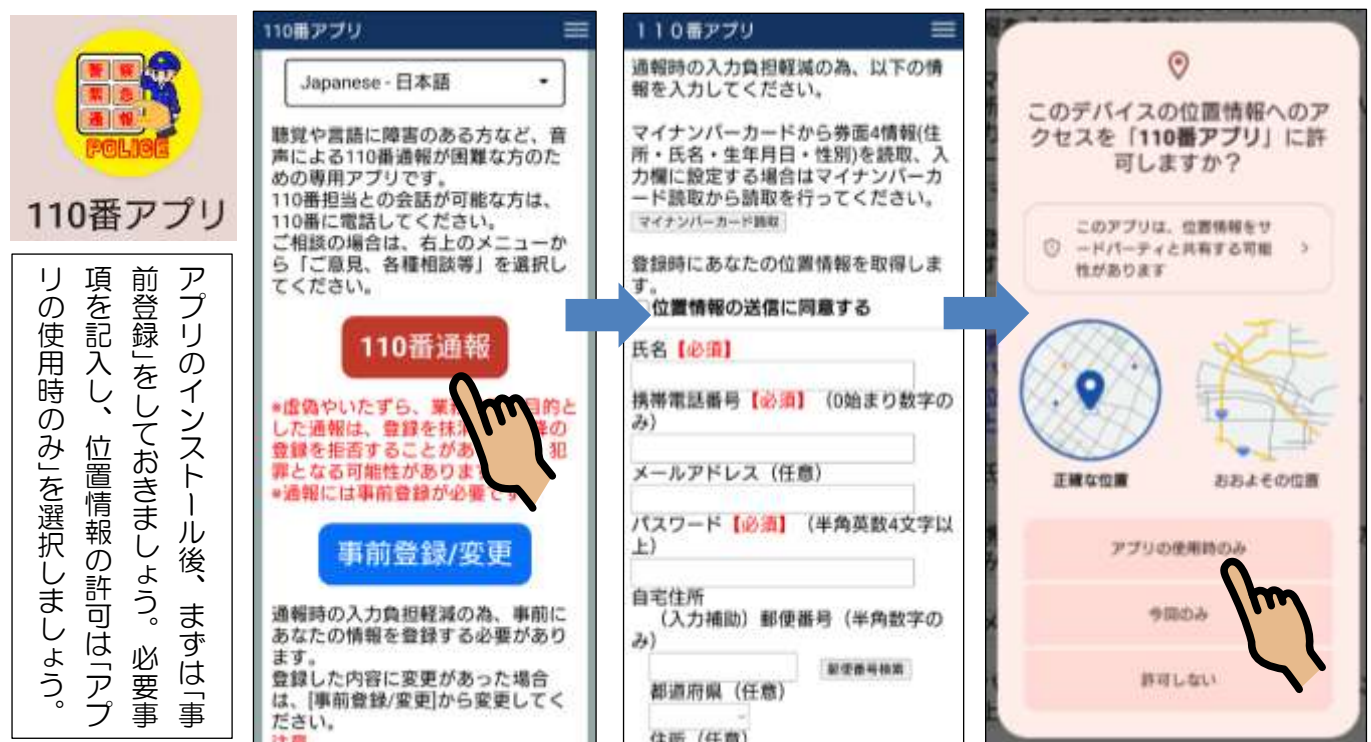
問合せ窓口：堺市消防局 警防部 通信指令課
FAX：072-223-6938
E-mail：shotsu@city.sakai.lg.jp

メール 110 番→110 番アプリへ！

大阪府警察への緊急通報として「メール 110 番」を利用している方にお知らせです。令和 7 年 12 月 31 日をもって、メールでの 110 番通報はできなくなりますのでご注意ください。通報の際は「110 番アプリシステム」が利用できます。スマートフォンに専用のアプリをインストールし、氏名、電話番号、パスワード等を事前に登録することで利用が可能となります。お使いのスマートフォンによってアプリの種類が異なりますので、iPhone の方は AppStore(アップストア)、android の方は GooglePlay(グーグルプレイ)ストアで「110 番アプリ」を検索してください。iPhone は「入手」→インストール、android は「インストール」をタップします。



インストール後は、下図の手順で登録手続きをしておきましょう。「いざ！」というときに細かい入力をする必要がなく、慌てず通報ができます。通報の際は、携帯電話番号と登録時に設定したパスワードの入力が必要です。パスワードは緊急時でも入力しやすいものにしておくことをお勧めします。「練習モード」もあるので、慌てずに通報ができるよう練習しておきましょう。



インストールの方法がわからないときは、視覚・聴覚障害者センターでサポートします。遠慮なくお越しください(事前にご連絡をお願いします)。

文字でのチャットや、撮った写真の送信ができる「110 番アプリシステム」。事故の時など、近くにいる人に電話をお願いしてもいいのですが、アプリを使うときこえない・きこえにくい人からの通報であると通報先に伝わることもメリットのひとつです。暮らしの安全・安心のため、ぜひご利用ください。

お知らせ: 12月28日(日)～1月5日(月)は休館です。
1月5日(月)は、手話通訳・要約筆記の派遣依頼のみ受付しています。

手話奉仕員・通訳者養成講座

市民向け手話講座スタート！

市民向け手話講座(秋コース)が11月より各区で開講しました。聴覚障害者の生活、コミュニケーション方法、手話について学びます。身ぶりで伝える学習からスタートし、毎回3つずつ手話を学習していきます！

要約筆記者養成講座

養成講座もあと少し！

5月10日より始まった講座も終点が見えてきました。2月15日の全国要約筆記者認定試験では、今まで勉強した成果を思う存分発揮していただければと思います。
頑張れ！ファイト！！



センター(聴覚)の行事

※行事はすべて事前申込が必要です。

1月 8日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

1月 9日(金) 13:30~16:30

補聴器相談

1月17日(土) 14:00~16:00

みみサロン

1月24日(土) 14:00~16:00

堺市手話言語・障害者のコミュニケーション条例普及イベント

1月31日(土) 14:00~16:00

保護者学習会+こどもの交流会
「対話力を育てる環境づくり」

2月12日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

2月13日(金) 13:30~16:30

補聴器相談



ビデオライブラリーのおすすめ

「silent 8」

紬と想はLINEで連絡を取り合うなど、少しずつだが距離を縮めていきます。しかし、距離が縮まるほど、想はきこえない自分が一緒にいると紬は大変ではないかと気遣い、距離を縮めることをためらうのでした。一方、久しぶりに再会した春尾と奈々。紬と想を見ていたら春尾のことを思い出したと奈々は言います。春尾と奈々の間に何があったのでしょうか。

「おはなしのくに 一休さん」

昔々、あるお寺に一休というお坊さんがいました。一休さんは、どんな問題でも解決する「とんち」の名人。とんちを使って町のいろいろな問題を解決していました。ある日、その評判が殿様の耳に届いて、殿様のお屋敷に呼ばれます。



センター(聴覚)の情報はこちらから



Instagram



YouTube



LINE

きこえる方のLINE登録はご遠慮ください

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

- ・手話通訳者実践研修 11/6
- ・手話通訳者実技研修 11/29
- ・盲ろう者手引き研修 12/11

- ・登録者合同研修 1/21 「通訳前の事前準備と資料の活用方」
 - ・手話通訳者実践研修 2/21 「事例検討；講演派遣場面」
- 令和8年度登録継続手続きの案内は、1月末頃にお送りします。引き続きよろしくお願いいたします。

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
10月	派遣数	211件	28件	10件	12件	9人	32本
	派遣人数	218人	54人	22人	37人	新規登録者：0人	
11月	派遣数	206件	31件	15件	18件	6人	23本
	派遣人数	208人	72人	21人	67人	新規登録者：0人	

ご協力
ありがとうございました

